佐賀大学 SAGA UNIVERSITY
理工学部 FACULTY OF SCIENCE AND ENGINEERING

令和元年 12 月 16 日

インドネシアのスリビジャヤ大学とスラバヤ工科大学から 教員・大学院生を受け入れ研修活動を実施

【概要】

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン」の科学技術研修コースの採択を受け、インドネシアのスリビジャヤ大学から 2 名の教員と 2 名の大学院生を理工学部化学部門に受け入れて、10 日間の研修活動を行いました。

【本文】

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「さくらサイエンスプラン」の交流事業として、2019 年 10 月 22 日から 10 月 31 日の 10 日間、インドネシアのスリビジャヤ大学の教員の Lia Cundari 先生、Muhammad Fiji Firdaus 先生ならびに、スラバヤ工科大学の大学院学生の Firman Ardyansyah さん、Muhammad Yudha Syahputra さんの 4 名が、理工学部化学部門生物電気化学研究室（冨永 昌人 教授）において、研修活動 (科学技術研修や体験プログラム)を実施しました。

【科学技術研修】

カーボンナノチューブ複合電極の作製法を修得しました。また、金ナノ粒子修飾電極も作製して、尿酸、アスコルビン酸、ドーパミンを検出するセンサの作製を行いました。ナノカーボン修飾電極を用いた微生物燃料電池も作製しました。

プログラム最終日には、4 名の招聘者が、母国大学での研究や本プログラムでの成果について、各 30 分程度の英語でのプレゼンテーションを行いました。日本人学部生・大学院生も、各自の研究内容を 5 分程度英語で紹介しました。

【体験プログラム】

2019 年 10 月 26 日（土）に、熊本市街を訪ねて、2016 年 4 月の熊本地震で被害を受けた修復中の熊本城や水前寺成趣園などを視察し

ました。2019 年 10 月 29 日（火）は、佐賀市エコプラザを視察して佐賀市のバイオマス産業都市への取組について理解し、また、佐賀城本丸歴史館を視察して日本と佐賀県の歴史について理解を深めました。

【日本人大学院生の感想】

　研究や視察などを支援した日本人大学院生にとっても, 有意義な研修活動となりました。感想を以下に示します。

KK さん : 今回のプログラムでは主に 2 人の学生に実験のレクチャーを行いました。留学生に実験を教えることで、自分自身も学ぶことが多く、お互いに勉強になるとても良い機会だったと思います。また、留学生と英語でコミュニケーションをとることで語学力が少し向上したと思います。

AT さん: 今回のプログラムでは主に 2 名の先生を担当しました。インドネシアの方とコミュニケーションをとっていくうちに実験のノウハウや他分野の研究、異文化の考え方などを互いに知ることができ、大きく成長できたと思います。普段の生活では味わうことのない素晴らしい体験でした。